

国際常民文化研究機構 共同研究グループ 成果発表会

人・モノ・情報の交錯におけるダイナミズム

—東アジアの物質文化からみた普遍性と独自性—

日時： 2013年11月23日（土） 10:00–17:30

会場： 神奈川大学横浜キャンパス 16号館視聴覚ホールB

主催：共同研究「東アジアの民具・物質文化からみた比較文化史」グループ

プログラム

総合司会(小熊 誠)

10:00–10:10開会挨拶(佐野賢治)

10:10–10:20主旨説明(角南聰一郎)

①国民国家の時代とモノの交錯

10:20–10:50鈴木文子「朝鮮玩具の社会史－植民地期朝鮮における'鮮玩'の発見とその系譜－」

10:50–11:20中尾「中華世界の民間版画－天理参考館所蔵資料を中心に－」

11:20–11:50太田心平「消費されるガラス乾板写真－植民地朝鮮と現代韓国の一関係性－」

11:50–12:05コメント(角南聰一郎)

12:05–13:10休憩

②国民国家形成以前のモノの交錯

13:10–13:40楳林啓介「物質文化から見た東アジア稻作伝播論再考」

14:10–14:25角南聰一郎「物質文化を比較する－東アジアの貨幣、甌、除草具を例に－」

14:25–14:35コメント(朽木量)

13:40–14:10休憩

③グローカルなモノの交錯

14:35–15:05志賀市子「台湾におけるQ版神仙ブームとその背景」

15:05–15:35芹澤知広「ベトナムの紙銭から中越関係を考える」

15:35–15:50コメント(小熊誠)

15:50–16:05総合コメント①(小島浩二)

16:05–16:20総合コメント②(加藤摩文)

④討論

16:20–17:20討論

17:20–閉会挨拶(小熊誠)



文部科学省認定 共同研究拠点
神奈川大学 国際常民文化研究機構